

中学生から大人まで多世代参加による 「まちづくり市民ワークショップ」が始まりました！



令和7年11月29日(土) 9:30~11:30
田村市役所 | 多目的ホール

田村市では、令和4年度から10年間のまちの未来や方向性を描いた「第2次田村市総合計画」を、多くの市民の皆さまにご協力いただき策定しました。

計画策定後3年が経過し、これまでの取り組みを振り返るとともに、これから5年間に必要な取り組みについて考えるワークショップを今年度中全4回開催していきます。

今回も中学生から大人の方まで多くの方に参加いただき、田村市のこれからについて話し合いを行います。

総合計画とは？

田村市をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどんなことを実施していくのかを、体系的にまとめたものです。

田村市に住む人が「住んで良かった、住み続けたい」と思えるよう、市民や様々な団体などと協力し、みんなの力でつくりあげていくことが大切です。「まちの未来について考えてみる」「地域のイベントに参加してみる」といった一人ひとりの小さな一歩が、まちにとって大きな変革を生み出します。

第1回ワークショップの流れ



まずは総合計画やワークショップの目的などを説明しました。その後、人口等の状況についてクイズを交えながら説明し、田村市の現状について理解を深めていきました。



参加者の皆さんが4~5人(+市職員)のグループに分かれ、田村市の「良いところ」「もう少し頑張してほしいところ」について、通信簿形式で評価してもらいました。



各グループで話し合った内容を、会場全体で共有しました。参加者からは、「わくわくするようなインパクトのあるモノを考えていく必要がある」、「世代を超えて交流する場や市について知ってもらえる機会が必要」などの意見がありました。

様々なご意見をいただきました！一部をご紹介します

まちの通信簿



評価の観点	大変よい	よい	まあよい	がんばりましょう
・自然が多く、景観がきれい	○			
・ゴミが少なく、治安が良い				
・交通のアクセスが良い				
・子育てに関する支援や環境が充実！				
・地域の人々が優しい				
・チャレンジしている人が多い				
・地域の人々が元気・温かい		○		
・上の世代が元気！				
・地域に興味を持つ若い人がいる				
・観光資源が多く、祭りに活気がある				
・一次産業が元気!!市長も！				
・車でのアクセス性○				
・災害時の助け合いの気持ち強い			○	
・子育てしやすい				
・何でも船引に集中しすぎ...				
・交通の利便性がよくない				
・24時間体制の病院がない				
・発信力が低い				
・空き家・空き地・廃校の利活用				
・働く場所、選択肢が少ない				
・若者が集まる場所がない				
・気軽にスポーツができる施設がない。				
・魅力や利便性を求めて市外に行ってしまう。				
・地元の人々が地元を知らない				